

施策	7104 市民参画の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	パブリックコメントの実施、地域市政懇談会の開催等を図る。						
成果指標	まちづくり懇談会出席者数...5年間（平成25年度～平成29年度）で1,150人（現状値 1,050人）						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人]	予定	920.00	1,100.00	1,110.00	1,130.00	1,150.00
		実績	957.00	1,131.00	1,356.00	1,460.00	
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	552,053	679,454	586,267	661,380	
実績		523,145	616,611	528,628	631,451		
内部評価	貢献度	まちづくり懇談会の出席者を増やし、市民の市政への参画を促すことは、上位施策の「住民参加の満足度」の向上に大きく貢献している。					
	達成状況	若者の参加者が少ないとのご意見を受け、高校生を対象とした市長との懇談会を実施した（12/18（日）開催）。まちづくり懇談会での意見の経過対応報告書の作成公表をした。					
	課題	まちづくり懇談会開催の周知を広報紙やHPのほかフェイスブックやツイッターで数多く行い、出席者の増加を図るほか開催場所や時間等も検討する事が必要であると思料する。					
	取組方針	まちづくり懇談会実施後に行うアンケート調査を基に、開催日数や時間、場所を検討し、出席者の増加を図るほか、各種媒体により参加を呼び掛ける。					
外部評価	<p>まちづくり懇談会については、昨年度、高校生を対象としたものや今年度は、子育て世代を対象にしたものなど、それぞれのテーマを設け、実施することは、非常に有意義であると思われるので、引き続きお願いしたい。また、通常の懇談会について、様々な時間帯や休日での実施、また逆に開催時期を地域ごとに毎年この時期と固定することも良いと思われるので、いろいろ分析し、最適な方法を見つけていただきたい。</p> <p>パブリックコメントは、市民から直接意見を聞く良い制度であるので、もっと注目度を挙げる努力をしていただきたい。</p> <p>市長へのアイデア直通便は、市民参画も可能であり、大変良い制度であるため、市の対応を含め、実際導入している事業等があれば広く周知をしていただきたい。</p>						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名称				トータルコスト(千円)	達成度
	670301	市政功労者表彰等事業費				2,631	100
	673201	広聴事業費				8,736	100
	670601	選挙管理委員会運営費				4,843	1
	670701	選挙啓発費				3,429	1
	670901	土地改良総代選挙費(国府・大平西部・都賀)				2,410	1
	671201	県知事選挙費				56,268	1
	671501	参議院議員通常選挙費				65,282	1
	679101	議員人件費				235,809	1
	679201	議会運営費				110,780	1
719001	市議会議員共済会負担金				69,383	1	

平成28年度

単位 施策評価表 補表

施策	7104 市民参画の充実		
区分	妥当性	妥当	市民の市政への参画手段として妥当である。
	コスト削減の余地	無	広く市政への参画を呼び掛けていくことが必要であり、コストの削減余地はないと考える。
	受益者負担	適正	市政への参画について、受益者負担を求めるものではない。
	上位貢献度	有効	まちづくり懇談会は市民と行政の協働について有効である。
	類似事業の有無	無	市政に対する意見等を執行部と直接やり取りする事業は他ではやっていない。
	成果向上の余地	有	まちづくり懇談会の出席者は年代別のかたよりのがあるので、各年代別の開催を検討する必要がある。
内部評価	貢献度	住民参加の満足度の向上にあたり、まちづくり懇談会の出席者が増えることで、市民の市政への参画を促すことができるため、その貢献度は大きい	
	達成状況	まちづくり懇談会の出席者については、年々増加しており目標は達成している。	
	課題	まちづくり懇談会の出席者については、年代別等に偏りがあり若者や女性など広い世代にわたって参加できる仕組みを構築する必要がある。	
	取組方針	より多くの市民の方がまちづくり懇談会に参加してもらうために、実施後にアンケート調査を行い、開催日数や時間、場所について再検討するほか、各種媒体により参加を呼びかける。引き続き、広い世代が参加できる仕組みを構築するよう努める。	

事 様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 2 8 年度

会計	一般	款項目	020102	予算事業コード	673201	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	広聴事業費										主	7104	市民と行政の協働と情報共有化の推進	市民参画の充実	
担当部課 係・担当チーム名	総合政策部 シティプロ 広報広聴係					担当者	三好怜子			従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H 1 8 ~ H 3 3 年度		全体事業費 (人件費除)	900		千円			

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市政に関する意見・提案等を募り、市政に反映させる。【主要事業】 ・まちづくり懇談会ふれあいトーク ・市長へのアイデア直通便 ・市政メール箱、投書箱等 ・パブリックコメント					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・市民の意見・提案等を市政に反映させる。				
	単位：千円、人					成果 施策目標	まちづくり懇談会出席者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,150人(現状値 1,050人)				

事業費・指標の推移	平成27年度決算額		平成28年度決算見込		平成 2 7 年度			平成 2 8 年度						
	国庫支出金		0		0	【事業の内容】 ・まちづくり懇談会ふれあいトーク ・市長へのアイデア直通便 ・メールや投書箱による広聴事案受付 ・広聴セミナーへの参加 【成果】 ・まちづくり懇談会ふれあいトークを20回開催し、1,356名の参加があった。 ・メールや投書箱による広聴事案は256件あった。			【事業の内容】 ・まちづくり懇談会ふれあいトーク ・市長へのアイデア直通便 ・メールや投書箱による広聴事案受付 ・広聴セミナーへの参加 ・高校生夢トークの実施 【成果】 ・まちづくり懇談会ふれあいトークを19回開催し、1,460名の参加があった。 ・メールや投書箱による広聴事案185件、市長へのアイデア直通便54提案であった。					
県支出金		0		0										
地方債		0		0										
その他特財		0		0										
一般財源		27		36										
事業費 a		27		36										
人件費 b		5,250		8,700										
減価償却費 c		0		0										
総事業費 a+b+c		5,277		8,736	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1		256.00		185.00	広聴案件受付件数	電子メール、FAX、郵便等で寄せられた広聴事案の件数 H28目標値 250件	件		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2		1,356.00		1,460.00	まちづくり懇談会の出席者数	全地域でのまちづくり懇談会出席者数 H28目標値 1,170人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 寄せられた市民の意見・提案等を市政に反映させるため、広聴事業の様々な機会を通じて、市の事業の情報を発信し、ご意見を伺っていく。														
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--